

やっぱりエダマメは美味くなきゃ～

香り豊かな極上エダマメ新品種

ゆきね
『雪音 (SB1013)』

新潟県での試作事例

有限会社藤崎種苗店
代表取締役 星野秀彰



筆者の有限会社藤崎種苗店 星野秀彰氏

冒頭に申し上げておきますが、新潟県民はとにかくエダマメを食べる県民であります。主食とまではいかないまでも（やはり主食はコシヒカリ!!）、子供のおやつにまでザルに山盛りのエダマメが出され、晩酌のお供やお茶うけに鍋いっぱいのエダマメをペロリと食べてしまうほど食文化にエダマメが深く浸透した地域です。

エダマメといっても当地では品種やタイプは千差万別で、一般の白毛エダマメはもちろんのこと、夏の茶豆、秋のコクのある豆など様々です。収穫時

期は5月に新潟の初夏を告げる「弥彦むすめ」というブランドで出荷される東だしエダマメを皮切りに、最近市場でも知られ始めた茶豆風味の品種が続き、8月に入ると“本茶”と呼ばれる新潟茶豆が出荷されます。9月後半からは十五夜豆（じゅうごやまめ）や肴豆（さかなまめ）といった地元在来系統の晩生品種群である“奥豆”が食卓へと並べられます。

新潟県での雪印種苗のエダマメといえますと、『サッポロミドリ』や『ユキムスメ』といった代表的な白毛早生品種の時代が長く続き、最近、知られ始めた茶豆風味品種の取り組みが増える中でも健闘しています。そんな中で、雪印種苗からの提案で試作を続けてきました『雪音（ゆきね SB1013）』の結果がまとまりましたのでご紹介します。

味の良さでバッチリ！ 新潟市西白根 星野さん

エダマメは朝市や地元の小料理屋さんへ出荷しておりリピーターが多く、品種や土づくりに大変こだわっている生産者で、ここ数年『雪音（ゆきね）』の試作を重ねてきました。本年は6月11日にトレイに播種し同月21日に移植しました。この時期の品種は草丈が伸びるものもあるため、生育を抑えるために葉先を切る作業も行っています。収穫は9月5日で、着莢も良く豊産性で、特徴のある豊かな香りと良好な食味を持つ品種であることが確認できました。発売されたら導入したい品種との感想をいただいております。



茹で上がりの『雪音（ゆきね）』



『雪音（ゆきね）』を栽培した星野さん



莢つきが良好な『雪音（ゆきね）』



戸頭農場
伊藤農場長と水田転作で栽培される『雪音（ゆきね）』

機械収穫でバッチリ！ 新潟市戸頭 農業生産組合戸頭農場 伊藤吉夫農場長

畑のべと（土）が粘土質で米が主体であったため、新潟市の旧白根市管内は米の減反がなかなか進まない地域でした。近年、地元農協のエダマメ栽培の推進もあり、エダマメ栽培を3haから取り組み始めました。これまでの作業としては8月の茶豆の収穫後は稲刈りが一般的でしたが、各青果市場より農協へエダマメの作付け要望が高まったため、『雪音（ゆきね）』の栽培に取り組みました。

本年は6月12日に直播し転作大豆と同じ株間の10cmという密植でおこないましたが、株が徒長せずしっかりしていたことや、着莢も揃い機械収穫をする上での作業性も良好でした。エダマメの機械収穫は莢の着く位置が低いとロスが多いため、地際から10cm程度の無着莢部分が必要で、試作した『雪音（ゆきね）』は、この条件を満たしており機械収穫にもロスなく対応できる品種であることも判明しました。

また、今年のように気象条件が不安定な年には、雪印種苗で発売している液肥『ジャックスパワー554』をエダ

マメ開花期に散布して着莢を安定させれば、さらに収量を安定させることができるので、これらの周辺技術も併せて『雪音（ゆきね）』の導入を進めていきたいと考えています。

待望の9月どり品種

『雪音（ゆきね）』の収穫時期は、新潟県の平野部で9月上旬～中旬頃が中心となります。この時期は稲刈り作業とぶつかり、高温期のため着莢も安定せず、茶豆や奥豆の収穫と重なるため、よほどの品種でないと導入が難しい時期になります。このため当初は半信半疑での試作設定ではありましたが、『雪音（ゆきね）』は着莢がよく豊産性で、豊かな香りと良好な食味という結果が得られ、加えて機械収穫適性が非常に高い品種である点で、今後の有望品種になるとの実感を強めました。

雪印種苗からは、栽植密度によっては分枝も多く発達する品種であり、粗植直播での収量性も高いとの説明があったので、今後はその栽培方法での特性も確認したいと考えています。

ここにご紹介したとおり、新潟県においてはエダマメが食文化として日常生活に密着しているため、生産者だけでなく消費者までも品種に関して一家

言を持つ人が多く、生産者はJAや種苗店で「食味の良い品種の種子」を、消費者は地元のスーパーや青果店で「食味の良い青果」を求める傾向が強い地域です。

一連の試作を通じて『雪音（ゆきね）』は、当地では6月播き9月収穫の品種としてお奨めできる条件を満たしているとの実感を強めました。雪音の収穫時期は、残暑が厳しい時期でもあり、仕事の後のビールの付け合せには最高のエダマメになることは間違いない！と『雪音（ゆきね）』に期待をしております。



ここまで地際からしっかりしているので
機械収穫にバッチリ